

令和7年度 第1回川崎市宮前市民館専門部会会議録（要旨）

日 時 令和7年6月25日（水） 10:00～12:00
会 場 宮前市民館 第4会議室

出席者	部会長	川西 和子	調査モデレーター・分析・各種司会
	副部会長	山本 太三雄	菅生分館利用者懇談会
	委 員	渡辺 美代子	宮前区文化協会 会計
		白武 初江	宮前第6地区民生委員児童委員協議会 会長
		高久 實	宮前区全町内・自治会連合会 理事
		檜崎 光雄	市民委員
		宮下 大志	宮前区PTA協議会 役員
欠席者		後藤 香織	川崎市立宮前平小学校 校長

事務局 宮前市民館 石川館長・下間係長・徳原係長・篠原主任・加古主任・今井職員
田中職員・田浪職員
菅生分館 佐藤分館長

会議の成立 委員8名中7名出席のため、成立

会議の公開・傍聴人 4名

次 第

委嘱状交付

1 宮前市民館長あいさつ

2 議事

(1) 報告事項

ア 宮前市民館・菅生分館の管理運営計画について

イ 宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について

(2) 協議事項

・ 今期の研究課題について

(3) その他

ア 第2回宮前市民館専門部会の開催日程について

イ その他

配布資料

令和6・7年度 川崎市社会教育委員会議宮前市民館部会 委員名簿

資料1 令和7年度 補修工事予定一覧

資料2 令和7年度 宮前市民館 社会教育振興事業実施状況

資料3 令和7年度 宮前市民館菅生分館 社会教育振興事業実施状況

(参考)

●宮前市民館だより 第260号(4月1日発行)、第261号(6月1日発行)

●菅生分館だより 第191号(5月1日発行)、第192号(7月1日発行)

●宮前市民館事業チラシ

- 「宮前日本語学級」 識字学習活動
 - 「見上げてごらんスマホで空を」 シニアの社会参加支援事業
 - 「美味しい人生を味わうために～これからにつなげる自分史」 成人教室事業
 - 「スマホ相談会 4月・5月・6月・7月」 現代的課題学習事業
 - 「スマホボランティアによる初心者向けLINE講座」 現代的課題学習事業
 - 「宮前親子学級 ～見守る子育てで一緒に育とう～」 家庭・地域教育学級
 - 「みやまえ子育てフェスタ 2025 プレイイベント！」 課題別連携事業
 - 「夏休み子どもあそびランド2025 あそびの達人募集！」
 - 「夏休み子どもあそびランド2025 サポーター募集！」
 - 「夏休み子どもあそびランド2025 あそびランドをもっと楽しむサポーター養成講座」
- 多様な主体が参画する子どもあそびランド事業

●菅生分館事業チラシ

- 「おしゃべりスマホひろば」 現代的課題学習事業
- 「おしゃべりサロンすがお これからの予定」(4月～6月) 課題別連携事業
- 「おしゃべりサロンすがお これからの予定」(7月～9月) 課題別連携事業
- 「児童室であそぼう Day 5月」 子育て支援啓発事業
- 「児童室であそぼう Day 7月」 子育て支援啓発事業
- 「菅生でお江戸を感じて」 シニアの社会参加支援事業
- 「地域活動チャレンジ～あなたのスキルで新たな仲間と」 市民エンパワーメント研修
- 「人を惹きつける地域活動とは？」 市民エンパワーメント研修
- 「菅生分館で「マナビ」のタネをみつけよう」 青少年教室事業

●生涯学習情報誌「ステージアップ」 Vol.253

●令和6年度 教育文化会館・市民館活動報告書(委員のみ配布)

1 宮前市民館長あいさつ

2 議事

(1) 報告事項

ア 宮前市民館・菅生分館の管理運営計画について

令和7年度の宮前市民館、宮前図書館の補修工事の予定について、資料1に基づき、下間係長から説明を行った。菅生分館の補修工事の予定については、佐藤分館長から説明を行った。

(質疑応答)

檜崎委員

今の市民館が完成したのはいつか。

下間係長

昭和59年(1984年)に完成した。

渡辺委員

ギャラリーの照明はLEDになるのか。

下間係長

その予定になっている。

川西部会長

管理運営委託業者の専門の設備員はどこに常駐しているのか。

下間係長

1階の舞台事務室に駐在している。

イ 宮前市民館・菅生分館の社会教育振興事業予算及び実施計画について

令和7年度の宮前市民館の社会教育振興事業の実施状況について、資料2に基づき徳原係長から説明を行った。

令和7年度の菅生分館の社会教育振興事業の実施状況について、資料3に基づき佐藤分館長から、説明を行った。

(質疑応答)

山本副部会長

菅生分館の学習情報提供・学習相談事業はだれが対応しているのか。

佐藤分館長

職員が窓口で対応していて、活動サークルの紹介や何かやりたいという相談にのっている。学習相談員はおいていない。

川西部会長

相談して実際に参加した人はいるのか。

佐藤分館長

活動サークルを見学したのち、参加している人もいる。

川西部会長

菅生分館の青少年教室は昨年度参加者が少ないようだったが、対象校はどこ

になるのか。また、参加理由のアンケートは取った方が良いのではないかな。

佐藤分館長

菅生中学校区の菅生小学校、稗原小学校、菅生中学校を基本の対象としている。アンケートと併せて、職員が参加の状況を聞き取るなどしていた。

高久委員

鷺沼移転を踏まえ、市民館には向丘出張所と積極的に連携してもらいたい。良い講座は出張所で開催するなど検討してほしい。

佐藤分館長

菅生分館と向丘出張所で連携した取り組みができないか考えており、近々打ち合わせを予定している。

徳原係長

令和5・6年度は向丘出張所で地域人材育成指針関連事業を行ったが、今年度も向丘出張所を会場とした事業を検討していきたい。

檜崎委員

菅生分館のシニアの社会参加支援事業「菅生でお江戸を感じて」は人気があったようだが、人気のあるものは宮前市民館でも開催するのはどうか。また、昨年度の菅生分館の高齢者セミナー「心と体と脳 まるっとイキイキ健康づくり」も人が多く集まっていたようである。身体を動かすことは高齢者にとって大切だと思うが、今年度は高齢者セミナーを開催しないのか。

佐藤分館長

まずは今年度、シニアの社会参加支援事業として「菅生でお江戸を感じて」を開催した。高齢者セミナーについては今後検討していく。

檜崎委員

宮前市民館の識字学級参加者の国籍の内訳はどうなっているのか

徳原係長

昼コースはアジア系の国籍が多かったが、最近は各国から集まってきている印象がある。昼は女性の参加者が多く、日常生活に困らないためという初級レベルの学習を行い、夜コースはややレベルが高めで昼間仕事をしている男性の参加者が多い。

宮下委員

菅生分館の「0歳から親子で楽しめるコンサート」は市民自主企画事業と市民館保育活動の二か所に記載があるが、委託料が二重に発生しているのか。

佐藤分館長

市民自主実施団体への委託料から保育ボランティアさんへ支払われている。資料では保育の事業としての活動を再掲しているので、二重に支払われてはいない。

宮下委員

菅生分館の市民エンパワーメント研修は人が集まらないとのことだったが、どのような内容なのか。休日や夜にわざわざ菅生分館まで赴くのは大変。座学はインターネットで配信をすれば、通勤時間や昼休みなどにもスマホで視聴することができる。インターネット配信と組み合わせて、講義を聞いてから集まるという講座の形も良いのではないか。

川西部会長

市民館が鷺沼に移転すると、駅を利用してる社会人も利用しやすくなると思う。5回の講座ならそのうち3回を配信にするなど組み合わせるのもよいのではないか。

佐藤分館長

市民館の事業は参加者同士のつながりを作る顔の見える仲間づくりが講座の中心となっているため、実際に菅生分館に足を運んで欲しいという思いがある。

宮下委員

菅生分館だよりと市民館だよりの予算が10倍ほど違うのはどうしてか。

佐藤分館長

菅生分館だよりは職員が作成・印刷しているので比較的安価にできる。

徳原係長

市民館だよりは業者に委託して作成をしている。

宮下委員

市民館の地域課題対応事業は、今年は危機管理担当と連携するようだが、防災を扱わないのか。地震などの災害は世代に関わらず関心があるし、避難所運営に関わる人材も増えてほしいので、広報を頑張って人を集めてほしい。

徳原係長

危機管理担当としてどのようなところに注目していきたいかをこれから打ち合わせるが、防災についてがメインになると思う。昼間に何か災害が起こった時に、働いている世代は不在でシニアと学生が残る。そういった状況で何かできないかということは考えておいた方がよいと思う。

渡辺委員

専門委員になって市民館がいろいろなことをやっていると知った。多くの人に市民館を知ってもらうには、インターネットの動画配信を活用していくといいのではないか。それならば市民館に足を運べない人も参加できると思う。

徳原係長

市民館を知らない人、来られない人を掘り起こすのは課題になっている。現代のツールを使って、周知の仕方をより一層考えていかなければならないと思っている。

渡辺委員

防災はその地域のものとして知るべき情報である。インターネット上で動画配信をすれば若い世代も見ることができる。起震車を海外の人に体験してもらったところ、たいへん興味を持って参加してくれたという話を聞いた。事業の中にイベント性を持たせるのもよいと思う。

山本副部長

歴史の講座を開催した時に、動画を配信し、後から会員限定で録画を見られるようにしたところ、全国から見に来てくれる人がいた。初めは対象を限定してもいいので動画配信をすることを考えてみても良いのではないか。

(2) 協議事項

- ・ 今期の研究課題について

川西部会長

昨年度から、市民館サポーターを作ろうというテーマで実際的なワーキングをやってきた。今後は、7月に開催する青少年教室事業の中高生の館内装飾の取り組みを見ながら考えていくことになるのか。

他には、2階ロビーに内線電話を置き3階事務室と直接話せるようにできないか、フロアマップをもっと目立つ形にしたい、現在掲示されている市民館の看板を目立つようにしたい、などの意見が出ている。

今日市民館に来た時に2階ロビーから見上げた3階事務所の窓に白い目隠しが貼られていた。ちょっとしたことで雰囲気が変わるという印象を持った。

徳原係長

8月16、17日のあそびランドに向けて装飾を作っていくが、あそびランドの装飾と並行して、終了後もロビーから3階へ上がる導線や案内などが目立つ形で残すものを、講座講師と相談して考えていく。

高久委員

毎月の分科会は正直大変だと思うこともあるが、やっと市民館をわかってきたと感じる。市民館をたくさん利用してもらうハードルは高い。館長は新しい目線でいろいろな試みを進めてほしい。

檜崎委員

市民館はとても良い内容の活動をしているのに知らない人が多くもったいない。コツコツと知ってもらうための活動を行っていくしかないと思う。

宮下委員

市民館は学習活動の場であると同時に居場所になってきていると感じている。2階ロビーでは子どもがゲームをしたり、市民広場でダンスをしたりしている。市民館はいろいろなコンテンツを用意してくれているが、活動だけでなくもっと居場所にしてあげることができれば「市民」の「館」になるのではない

いか。

白武委員

東有馬在住なので、近くにアリーノもあり、今まで宮前市民館にあまり来たことがなかった。専門委員になって、いろいろなことをしていて勉強になると感じている。

渡辺委員

ギャラリーで展示会をしていると、受付でずっと話をしている人がいる。話し相手を求めているのだと思う。会話がとても大切なので、いろいろな分野の人がロビーで雑談できるような、常に人の気配がある活性化した雰囲気の間になると良いと思う。

また、先日青少年教室事業のポスターを作ったが、応募状況はどうなっているのか。

徳原係長

ポスターについては宮前区内の東急の各駅、公共施設などを回り、掲示をお願いした。申し込みは現在5人。参加者に講座を知ったきっかけを確認をする予定である。また、講座終了後も季節ごとに館内に残した装飾を直してもらうなどして、継続的なつながりを作っていきたい。

川西部会長

宮前ではコミュニティカフェを何年も前からやっている。家族に出かけるように言われバスを乗り継いで市民館に来たおばあさんが、カフェで40分ほど歌を歌ってとても楽しかったと帰っていったことがあった。いつでも話せていつでも出ていける誰でもウェルカムな場所はとても大事だと思う。

区役所でやっているロビーコンサートを市民館で開催したら人が来るのではないだろうか。

檜崎委員

高齢者や一人暮らしの人は誰かと話をしたいと思っている人が多いし、ロビーコンサートを市民館で行うのはいいのではないか。

川西部会長

以前知り合いの看護師が、コミュニティカフェで立ち寄って話をすることにメリットはあるのか調査し、学会で発表をしたことがある。行ける場所があり、知らない人と話すことは健康にも良く、それが地域の活性化にも繋がっていく。市民館サポーターとコミュニティカフェをつなぐことも大事ではないだろうか。

山本副部会長

ビジター・リピーター・サポーターという考え方がある。企業の商品に対するお客さんの意見も、次はサポーターになってくれるという目線で話を聞くと受け止め方が変わるそう。市民館も利用者の声を拾うという意識を持って関

わってほしい。

また、大ホールは鷺沼に移転したらどうなるのか。

下間係長

大ホールはあるが、収容人数についてはまだ確定してはいない。

高久委員

鷺沼に移転するまでにあと7年ほどあり、それまではこの施設を使うことになる。2階の男性トイレが匂うので、何か補修などはできないものなのか。

石川館長

匂いがあるということは認識しており対応はしている。できることから対処したいと思う。

川西部会長

ずっと同じ場所にいると見えなくなってしまうことはある。「市民館ってどんなところ？」の講座でチラシを作った時に、チラシラックに入れてみると、表面の上3分の1が大事だということがわかった。市民館の利用案内を作り直した時も、意外に知られていない市民館が土日にも開館しているということを表紙に載せた。新たな目線、フレッシュな視点で見て提案を出していくことが大切だと思う。

宮下委員

区役所はロビーを使って展示などを行っているが、区役所は土日が休みのため、常設展示は市民館で開催するなどしてはどうか。そうすれば市民館の存在を知ってもらえるのではないか。また、地域教育会議やPTA等と積極的に連携を取っていくといいのではないか。

徳原係長

今年から区役所にもイベント情報を共有する動きがあり連携してきている。市民館を積極的にアピールしていこうと思っている。

川西部会長

区役所の待ち時間に見てもらうため、市民館の情報を掲示してもらうのもいいのではないだろうか。

(3) その他

ア 第2回宮前市民館専門部会の開催日程について

第2回専門部会の開催日は、9月24日（水）午前10時からとする。

イ その他

・「Let' ハンドメイド&館内装飾」の7月23、24日

・「夏休み子どもあそびランド2025」8月16、17日

市民館専門委員はぜひ1日は参加して欲しいと川西部会長から話があった。